

(一社) 宮城県作業療法士会 正会員各位

## 『第 20 回宮城県作業療法学会 事前申込み、プログラム』のご案内

時下、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、第 20 回宮城県作業療法学会につきまして、ホームページにて事前参加申込みが開始されております。(11月8日(金)が事前参加登録の締め切りとなります)

受付をスムーズに行うためできるだけ事前登録をご利用くださいますよう、お願いいたします。多くの皆さまの参加をお待ちしています。

(事前登録を頂いた方には、演題、シンポジウムの抄録等を資料としてお渡しいたします)

1. 日 時 : 令和元年 11 月 24 日 (日) 10:25~ (受付 10:00 開始)

2. 会 場 : トークネットホール仙台 (仙台市民会館)  
〒980-0823 宮城県仙台市青葉区桜ヶ岡公園 4-1

3. 対象・参加費 : 宮城 OT 士会員 無料 / 非会員 2,500 円 / 学生 無料

### 4. プログラム

10:00~ 受付

10:25~10:30 開会式 学会長挨拶 大黒一司

**【事例報告】** 座長 : 宮崎 堅 (石巻赤十字病院)

10:30~11:00 事例報告① 穴戸 杏妃 (広南病院)

「急性期より課題志向型訓練と Transfer package を併用し、ADL での麻痺側上肢の使用頻度が向上した一症例」

11:00~11:30 事例報告② 佐々木 春香 (仙台リハビリテーション病院)

「退院後の家事定着を目指して~家族に料理を作ることでの役割の再獲得~」

休 憩 (10 分) ※OT フェスタ紹介 大塚英樹

**【演題発表】** 座長 : 佐藤 裕之 (リハビリサロン Place)

11:40~11:52 一般演題① 菊池 尚也 (西多賀病院)

「パーキンソン病患者における認知機能と ADL 能力との関係」

11:52～12:04 一般演題② 阿部 千春 (仙台東脳神経外科病院)  
「早期から装具療法を併用し、上肢機能と学習性不使用の改善を認めた一症例」

12:04～12:16 一般演題③ 菅野 俊一郎 (坂総合病院)  
「特設 運転と作業療法委員会の活動報告」

12:16～12:28 一般演題④ 本多 ふく代 (東北文化学園大学)  
「宮城県特別支援学校外部専門家活用事業のご報告」

12:30～13:35 学術部報告 (5分) 休 憩 (50分)

13:25～15:00 シンポジウム  
～これからの臨床実習を考える～未来の仲間 (作業療法士) のために～

【司会】

大黒 一司 氏 (宮城県作業療法士会 会長)

今回のシンポジウムのねらい (目的) についての基調講演 (5分)

- ・理学療法士作業療法士養成施設指導ガイドライン改定内容を知る
  - ・臨床実習指導の実際を紹介していただき今後の指導の参考にする
  - ・将来の作業療法士である後輩の育成と職能団体としての未来に関わることを考える
- 各シンポジストの講演内容を簡単に紹介する。

【シンポジスト】

紀國谷 恵子 氏 (東北福祉大学) (20分)

理学療法士作業療法士学校養成指定規則 (指定規則) の改定とそれに伴い 2018 年 10 月に厚生労働省医政局長より理学療法士作業療法士養成施設指導ガイドライン (ガイドライン) 改定された。臨床実習の時間と指導の在り方がこれまでの臨床実習と大きく異なることになる。ガイドラインにおいて、1 単位を 40 時間以上の実習をもって構成することとし、実習時間外に行う学修等がある場合には、その時間も含め 45 時間以内としたところである。現行のガイドラインにおいて定められている臨床実習の 1 単位の時間数である「45 時間」についても、臨床実習の時間外に当該臨床実習に必要な書類の作成等を行う時間を含むものである。臨床実習指導は診療参加型により進められ、臨床実習指導者は、厚生労働省が指定する臨床実習指導者講習会を修了しなければなりません。そこで指定規則とガイドラインの改定の目的と内容について講演する。

荒井 隆徳 氏 (仙台リハビリテーション病院) (20分)

ガイドラインの改定に伴い従来の臨床実習の指導を変えなければならない。臨床実習指導は診療参加型の実習により進めることになる。そこで、診療参加型の臨床実習による実習指導について仙台リハビリテーションで体系化している臨床実習指導システムと、これまでの指導の実際を

紹介する。また、これまでの経験から臨床実習指導の良い点、課題についても提示する。

大場 綾希子 氏（宮城県立精神医療センター） （20分）

ガイドラインの改定に伴い従来の臨床実習の指導を変えなければならない。臨床実習指導は診療参加型の実習により進めることになる。そこで、精神科領域における診療参加型による実習指導について宮城県立精神医療センターにおける実践をとおして紹介する。また、精神科領域における臨床参加型実習の課題について述べる。

議論（25分）

- ・ 改定内容において良い点と配慮する点
  - 養成校として臨床教育プログラム
  - 臨床実習指導者として、臨床実習施設として
- ・ 臨床実習指導で留意する点
- ・ 臨床実習を指導する上で懸念される点（指導者、学生、施設、対象者、養成校）

15:00～ 閉会式 淀川 裕美（ブロック活動推進委員長）

以上

※参加をご希望の方で公文書が必要となる場合は、文書の発送先等をお知らせいただきため、下記の担当者までご連絡ください。

第20回宮城県作業療法学会 事務局  
金澤 聡（仙台リハビリテーション専門学校）  
Mail: [kanezawa-yoda@mist.ocn.ne.jp](mailto:kanezawa-yoda@mist.ocn.ne.jp)